

## ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたい8つのポイント

### 部屋を分けましょう

- ◆個室にしましょう。食事や寝るときも別室としてください。
  - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など部屋が分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ち、仕切りやカーテンなどを設置することをお勧めします。
  - ・寝るときは頭の位置が互い違いになるようにしましょう。
- ◆ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。
  - ・トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

### 感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

### マスクをつけましょう

- ◆使用したマスクはほかの部屋に持ち出さないでください。
- ◆マスクの表面には触れないようにしてください。
  - ・マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。(アルコール手指消毒剤でも可)
  - ※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
  - ※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

### こまめに手を洗いましょう

- ◆こまめに石鹸で手を洗い、アルコール消毒をしましょう。
  - ・洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

### 換気をしましょう

- ◆定期的に換気してください。共有スペースやほかの部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。
- ◆開け放しにできない場合は、1時間に2回程度窓を開けましょう。

### 手で触れる共用部分を消毒しましょう

- ◆共用部分(ドアノブ、照明のスイッチ、ベッド柵など)は薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。
  - ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
  - ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください。目安となる濃度は0.05%です。(製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。)
- ◆トイレや洗面所は、通常の家計用洗剤で洗い、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。
- ◆タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは通常の洗浄や洗濯でかまいません。
  - ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
- ◆洗浄前のものを共用しないようにしてください。
  - ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないよう注意しましょう。

### 汚れたシーツ、衣服を洗濯しましょう

- ◆体液で汚れた衣服、シーツを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し、完全に乾かしてください。
  - ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

### ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- ご本人は外出を避けてください。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど健康観察を行い、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。

## 新型コロナウイルス感染予防対策のため各種施策を実施

バスの手すりや座席への接触から新型コロナウイルスへの感染を防止するため、乗車前後の消毒や換気に加え、より感染リスクを低減し安全安心を図るため、スクールバスや、村民の方が利用する万葉バス、各種研修に利用されているバス車内の抗ウイルスコーティング加工を実施しました。

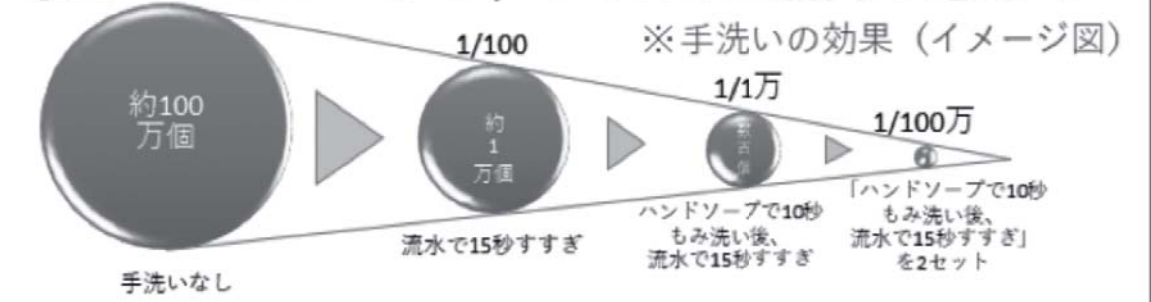
このコーティング剤は、空気中の水や酸素と反応してウイルスを無害化するもので、抗ウイルス効果と抗菌効果が約5年持続します。また、コーティング剤そのものも健康に影響のないことが証明されており、新型コロナウイルスへの感染防止に効果が期待できます。



また、小中学校の手洗い場の蛇口を自動水栓化し、バルブに触れなくても手を洗うことができるようになりました。

小中学校では、新型コロナウイルス感染対策として1日に何度も手を洗うため、センサーで感知した蛇口から水が自動で流れ使いやすくなったことで、生徒からは、「丁寧に手洗いができるようになった」との声が聞かれました。

## 手洗いのすすめ 水とハンドソープで、ウイルスは減らせます!



## 手洗いの、5つのタイミング

